

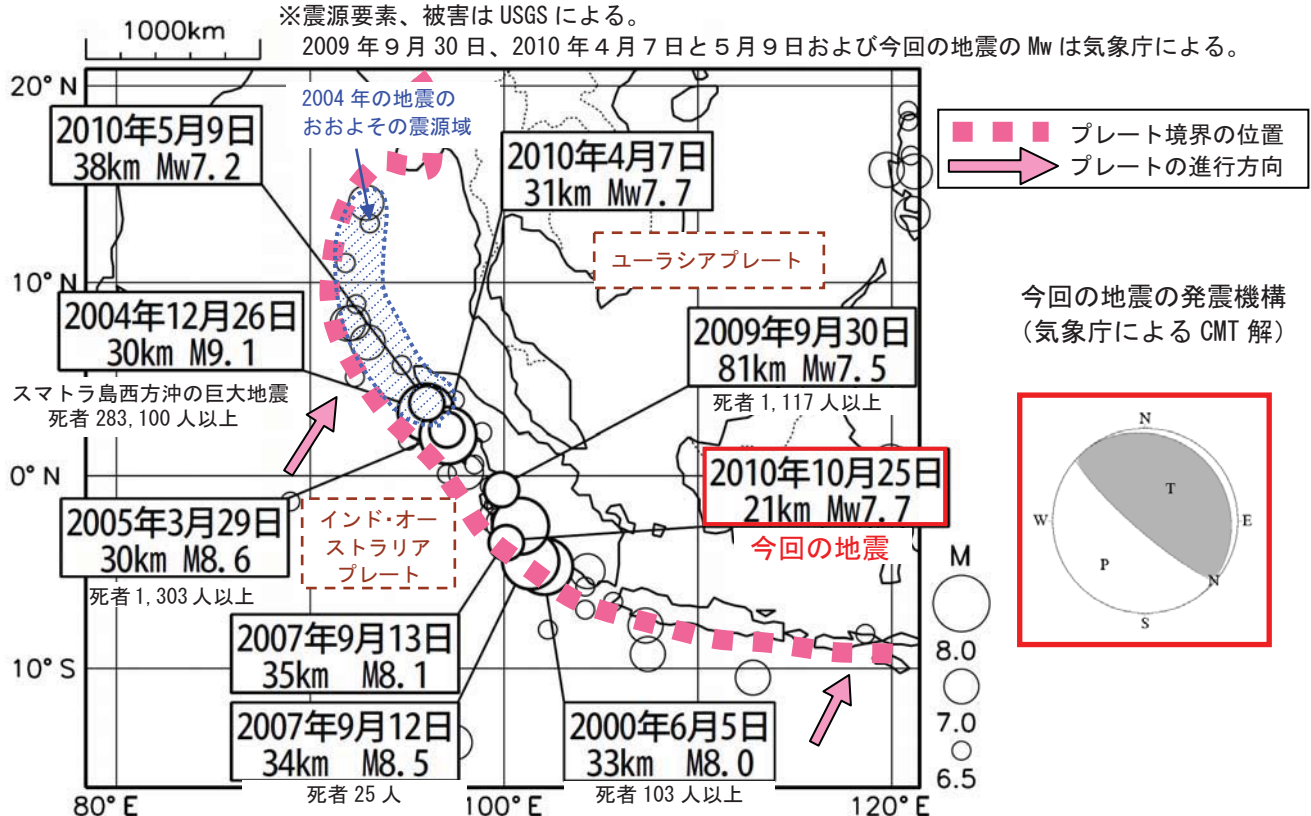
10月25日 インドネシア、スマトラ南部の地震

インドユーラシアプレート境界の地震、逆断層型、Mw7.7

2010年10月25日23時42分（日本時間）、インドネシアのスマトラ南部でMw7.7（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ユーラシアプレートと地下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの境界で発生した地震である。この地震は2007年9月の地震（M8.5、M8.1）の震源域付近で発生した。

気象庁は、翌日の26日00時01分に「インド洋津波監視情報」を、26日00時08分に「遠地地震に関する情報」を発表し、その後も観測された津波の高さについて適宜情報発表を行った。この地震により、モリシヤス共和国のロドリゲス島で40cmの津波が観測されたほか、インド洋沿岸で津波が観測された（津波の高さは米国海洋大気圏局[NOAA]による）。また、スマトラ島西方沖のムンタワイ諸島を中心に、現地では死者が400人以上に達している（11月2日現在、インドネシア国家防災庁[BNPB]のホームページによる）。

震央分布図（1980年1月1日～2010年10月31日、深さ0～100km、M≥6.5）



震央分布図（2004年1月1日～2010年10月31日、深さ0～100km、M≥5.0）

※震源要素は米国地質調査所(USGS)による。2009年9月30日、2010年4月7日および今回の地震のMwは気象庁による。

余震の震央分布図、地震活動経過図及び回数積算図（2010年10月25日23時～10月31日、深さ0～100km、M≥4.5）

※震源要素は米国地質調査所(USGS)による。今回の地震のMwは気象庁による。

